

はじめに

私、折乃笠は1982（昭和57）年大型商用車メーカーに入社し、それ以来エンジニアとして全力で突っ走ってきました。設計部長、技術管理部長やダカールラリー戦闘車のチーフエンジニア（開発責任者）を歴任しました。開発の仕事というのは、途中の道で、多くの難所、行き止まり、登りきれない坂があります。何度も立ち往生しながらも、何とか歯を食いしばって乗り越えてきました。

そんな経験と想いを若い人たちに伝えたくて、2007年、満50歳の時、折乃笠部長ブログを部内、社内に発信を開始しました。その後、その成果を生かしてさらにパワーアップし、一生のテーマとして、人間らしく生きるを追求するために、1年に1テーマでチャレンジ・修行をし、エッセイ（ブログ）にまとめていきます。

具体的には、過去から現在、そして未来に向かって、しっかりと目的（何のためにやるのか）と目標（いつまでに何をどうするか）を持って、様々なチャレンジ・修行をベストを尽くして実行してきました。時には大きな失敗や挫折を味わって、なんでこんなこととして

いるんだろうと、やめてしまいそうにもなりました。でも、そこが自身の修行で心身共に成長するチャンスなんです。また、エッセイ（ブログ）作成では、構想、計画、現地・現物調査、研究、考察、まとめと膨大な作業となり、そのプロセスがまた自身の修行になりました。

今回はその中で、「2014年東京23区探索徒歩の旅」、「2015年大月―日野ノンストップ徒歩の旅」、「2015年神奈川の歴史を訪ねる徒歩の旅」についてご紹介します。人、歴史、宗教、自然、文化、生活などを歩くことにより、自分自身の五感と足で探索しています。徒歩は、今まで気づかなかった景色、音、匂い、味、空気をじっくり感じることができます。さらに歩く速度と考える速度が同じなので、歩きながらじっくり考えることができ、次の行動にフィードバックできます。

この度、読者の皆様には本書をお読みいただき誠にありがとうございます。私、折乃笠といたしましたは、読者の皆様が、笑って涙して感動して元気になれますように。歩くという人間の本来の姿の良さを改めて知っていただけますように。人生には回り道も必要、無駄なことは一つもないことをわかってもらえますように。

そして、本書を読み終えた時、人として何が大切か、真の幸せとは何か、を考えていただけるように願っています。